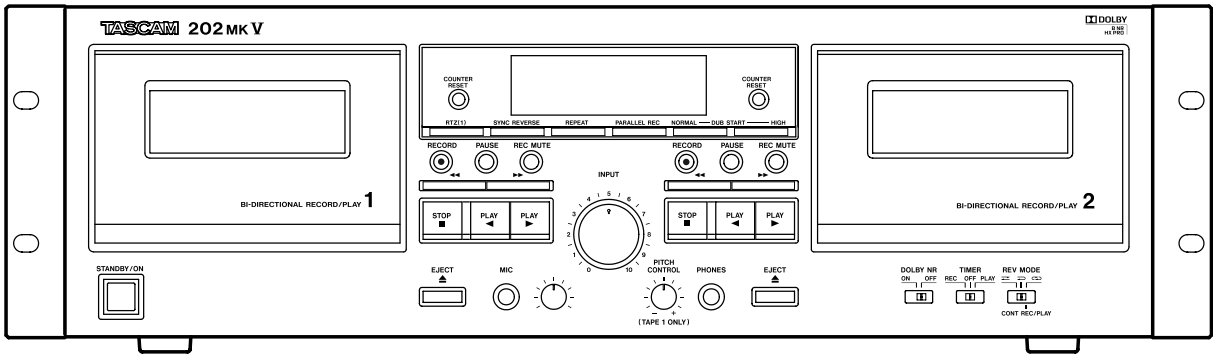
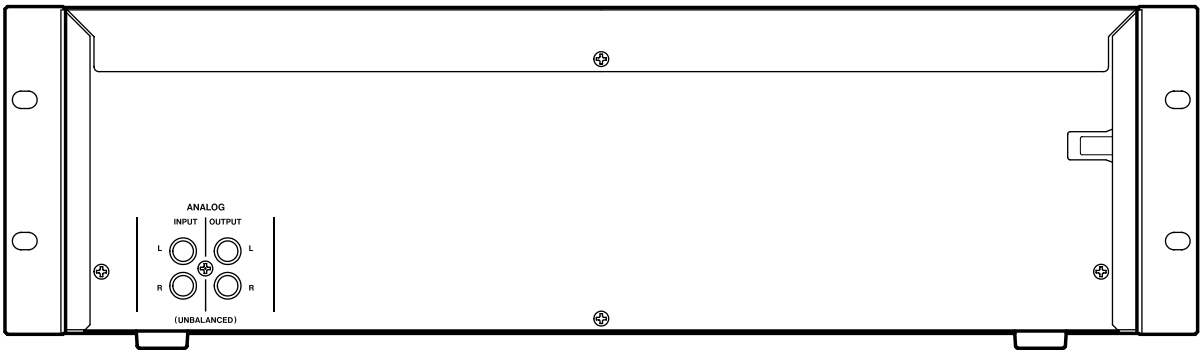
仕 様 書

202MK V

ダブルオートリバースカセットデッキ　　2009.03.11.



フロントパネル



リアパネル

1. 概 要

録音/再生メカを2台搭載した、ダブルオートリバースカセットデッキ。
A 面-B 面のリバース録音/再生や、TAPE 1 から TAPE 2 へ渡っての連続録音/再生、TAPE 1 と TAPE 2 への同時録音が可能なほか、倍速ダビングやシンクロリバースダビングにも対応します。また、タイマー録音/再生機能やピッチコントロール機能を備えており、幅広い用途に対応します。RoHS指令対応済み。

2. 主な特長

●連続再生、連続録音 （TAPE 1 A 面→TAPE 1 B 面→TAPE 2 A 面→TAPE 2 B 面）
●TAPE 1 と TAPE 2 で同時パラレル録音が可能 （入出力端子はマイク/ライン・ステレオ 1 系統のみ）
●倍速ダビング、定速ダビング
●TAPE 1 から2へのダビング時、A 面から B 面へ移るタイミングを一致できるシンクロリバースダビング
●テープカウンター0000 へロケートさせる Return to Zero （TAPE 1 のみ）

●＋/－12%のピッチコントロールを装備（TAPE 1 のみ）
●A－B 間リピート再生対応（20 回再生して自動停止）
●マイクミキシングを装備
●市販のタイマーと連動して、電源 ON で再生や録音ができるタイマー再生/録音
●DOLBY B 録音再生
●DOLBY HX PRO を搭載
●ノーマルテープ（タイプ Ⅰ）とクロームテープ（タイプ Ⅱ）の録音再生、メタルテープ（タイプⅣ）の再生に対応
●3Uラックマウント

[202MKⅣとの相違点]

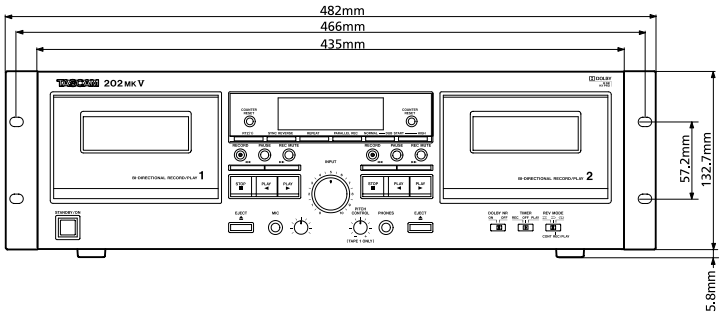
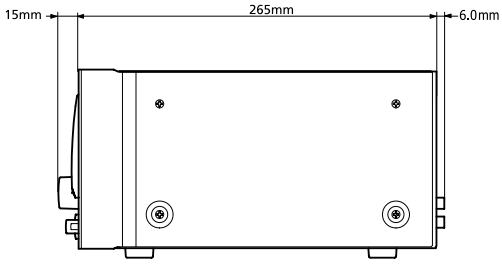
	202MKⅣ	202MK V
リターントゥーゼロ（Return to Zero）	×	○
A-B間リピート	×	○
CPS (Computomatic Program Search)	○	×
イントロチェック	○	×
ブランクスキャン	○	×

3. 定格・性能

定格

トラック方式	4 トラック・2 チャンネル・ステレオ
ヘッド構成	録音/再生ヘッド（TAPE1/TAPE2 各 1）
	消去ヘッド（TAPE1/TAPE2 各 1）
テープ速度	4.8 センチ/秒
	9.5 センチ/秒（倍速ダビング時）
ピッチコントロール	±12%
モーター	DC サーボー・モーター（キャプスタン、TAPE1/TAPE2 各 1）
ライン入力	RCA ピンジャック、アンバランス
	100mV（入力インピーダンス 50kΩ）
マイク入力	Φ6.3mm モノラル標準ホンジャック、アンバランス
	0.38mV（入力インピーダンス 200kΩ）
ライン出力	RCA ピンジャック、アンバランス
	0.46V（負荷インピーダンス 50kΩ 以上）
ヘッドホン出力	Φ6.3mm ステレオ標準ホンジャック
	1mW×2（32Ω）
電源	AC100V、50-60Hz
消費電力	16W
外形寸法	幅 482×高さ 138.5×奥行き 286（mm）
質量	4.0kg

性能

ワウフラッター	0.25%（WRMS）
早巻き時間	約 160 秒（C-60 テープ）
周波数特性	30Hz～19kHz（メタルテープ：タイプⅣ、再生のみ）
	30Hz～18kHz（クロームテープ：タイプ Ⅱ）
	30Hz～17kHz（ノーマルテープ：タイプ Ⅰ）
S/N 比	58dB（NR オフ、規定録音レベル）
	69dB（ドルビーNR オン CCIR-ARM）

外形寸法図